

「聴いて・考えて・つなげる」通信



1年生・キャリア教育

キャリア教育の一環として、実際に第一線で活躍しておられる講師の先生をお招きして、様々なミッションに取り組みました。43期の皆さんは班ごとに様々な企画を考え、パワーポイントや実際に作品を作ったりしながら、ユニークな企画をひねり出し、友達にどのように伝えたらよいかをひねり出し、試行錯誤している様子が見られました。また、学年の先生たちも、取り組むにあたって、クラスごとに行うのではなく、ミッションごとに生徒を分けるなど、普段と違ったメンバーで取り組むので、生徒も新鮮だったのではないのでしょうか。

🌀目的

プログラムを通して自ら学び成長する場をつくる。

変化する社会のなかで、つながりを感じ、学び続ける力を育むキャリア教育プログラムを実施

※生徒の主体的に考える、答えのない問いに向き合い見えない小さな変化を意識する授業

※コロナの状況でも学校外の大人との交流し学びをとめない

■大切にしていること（生徒と変わるすべて人）

- ・信じる 子どもたちの可能性を信じる
- ・認める どんな意見も大切に認める
- ・待つ 内発的な学びを促し、待つ

■育てたい力

- ・自ら学び、成長する力
- ・自分や他者を尊重する力
- ・想いを伝え合う力

🌀プログラム

- 1 生徒はクラスに関係なく、ミッションごとに分かれます。
- 2 プログラムは、大人（企業）から子どもたちにミッション（お題）として提示されます。

活動計画

- ① 事前学習 → （仕事を知る）自分が取り組むミッションの講師の先生から、お話を聞いて考える。
- ② 企画書作り → （企画を考える）自分たちが取り組むミッションについて調べたりして、企画を練る。
PowerPointを使う、作品を作る、模造紙に書くなどして、班で協力してプレゼン資料を作る。プレゼンの練習をする。
- ③ プレゼンテーション → （プレゼン（伝える）ミッションごとに発表をする。
- ④ 振り返り →

🌀ミッションの例

1・橋本京子先生（イラストレーター・画家）

【ミッション】ギャラリー開催「豊中市立第十五中学校～猫展～」の開催に出展する作品を作成してください。（テーマ（猫）タイトル・チーム名）

【橋本先生からのコメント】

ものを作ること、頭の中のイメージを形にすることはむずかしく大変な作業だと思います。今回、チームワークを発揮して見事にやり遂げてくれたなあと感じました。さらにアイデアも新鮮だったので、最後までワクワク楽しかったです。

ほしい！と思うもの、考えさせるテーマなど充実した時間をありがとうございました。

2・堀越正道（ほりこし まさみち）（婚活カウンセラー/企業人事）

【ミッション】アフターコロナ時代「新しい出会いの場や新たな結婚のスタイルを考えよう！」
（①出会い ②結婚）

【堀越先生からのコメント】

良かったところ）

- ・生徒さん全員がスピーカーとして話してくれました。
- ・違うクラスの生徒さんの前での発表にも関わらずしっかりと声を出してくれました。
- ・プレゼンテーションのスキル（パワポ）が素晴らしかったです。
- ・SDGs や社会課題（少子高齢化や女性活躍など）について向き合ってくれました。
- ・「考えのない問い」を経験していただき深く思考している様子が見えました。

- きっと「結婚ていいよね」と感じてくれた人がいそうでした。(様々なスタイル有で所感)
- 難しいテーマだったので苦労したと思います
- 何よりもこれから正解のない時代に突入する若い人に考えていただく機会になったらしいです
- こちらが一番勉強になり感謝しています。

3・植田 薫(うへだ かおる)(クリエイティブディレクター)

【ミッション】 みんなで楽しめる時間を創る「オンライン文化祭を考えよう！」
(ネーミング・対象者・文化祭で実施することを3つ)

【植田先生からのコメント】

貴重な時間をいただきありがとうございました。オンライン文化祭を考えるって目に見えない分大変だったと思います。母の日にどんなプレゼントを渡したら喜んでもらえるだろう?の延長で企画を練って0を1にする力をつけていただけたら幸いです。

4・秋山 剛(TikTok コンサルタント)

【ミッション】 みんなに伝えたい「豊中十五中学校を短い動画で伝えよう！」
(テーマ・内容・表現)

【秋山先生からのコメント】

素晴らしいプレゼンありがとうございました。パワポの表現もチームで伝えるチームカもとても素晴らしかったです。作成いただいた企画を基に動画を作れば十五中の良さがターゲットに伝わりバズると思います。皆さんの伝えるプレゼンありがとうございました。今回何を誰にどんな目的で伝えるという表現を考えていただき、伝えることを考えられたことをきっかけに、少しでも皆さんのこれからの人生の可能性を最大限に活かせるきっかけになることを心から願っております。

5・あすか ひまり(タレント)

【ミッション】 将来につながる「中学三年生が見たいYouTubeの企画を考えよう！」
(職業・質問)

【あすか先生からのコメント】

本日は皆さんの素敵な発表を聞かせていただきありがとうございました。それぞれの職業についてよく調べたうえでその質問を考えてくれていたことが伝わってきました。「その知ろうとすること」そのものが皆さんの知恵になってくるのでプレゼンを作るまでの経験をぜひ覚えてこれか

らの人生に活かしてほしい。

私自身も皆さんからあがってきた職業でコンテンツを作ったりこの人と出会えてよかったと思ってもらえる人になるように頑張ります。またいつかここで会った十五中のだれかと社会人になった時に仕事で会えることを楽しみにしています。

コーディネーター 荒川 由規(あらかわ ゆき)先生からのメッセージ

本日はありがとうございます。それぞれのクラス、個性のある発表(スタイル)で楽しませていただきました。ゲストの先生と交流したりする時間に価値を感じました。引き続きよろしく願います。

生徒の振り返りから

○最初だったのでみんな緊張していてセリフを飛ばしたりつまったりしました。でも全体的には声も出ていて速さもよかったし、いい感じでした。なのであともう少しすらすら言えていたら良かったと思います。

練習の時は早口になってしまい、本音はどうなってしまうかと不安な気持ちでいっぱいだったが一人一人は協力してゆっくりプレゼンをすることを意識すると迷ったり困ったりすることなく発表できました。

○皆自分のところをしっかりと発表できた。でももっといろいろな視点で考えられたらおっと面白い企画が考えられたかもしれない。

○発表をする順番を思えられなかったのは良くなかったけど自分のセリフをはきはきと伝えられたのは良かったと思う。準備している時はみんなで協力できてはなかったけどしっかりしている人のサポートをされていてサブという面ではできたと思う。